

ブロンズイーノ《ピア・デ・メディチの肖像》(部分)1542年頃
ウフィツィ美術館蔵
Antonio Quattrone, Firenze

メディチのプリンセス、初来日

遥かなる

Sol Levante nel Rinascimento Italiano

天正遣欧少年使節がたどったイタリア

ルネサンス

2017年

9月21日[木] — 12月3日[日]

休館日＝月曜日(ただし10/9は開館、10/10は振替休館)
時 間＝10:00～17:00(16:30受付終了)

主催＝東京富士美術館、朝日新聞社、NHKプロモーション

特別協力＝イタリア文化財・文化活動・観光省美術館総局、ウフィツィ美術館

後援＝外務省、イタリア文化財・文化活動・観光省、イタリア大使館、イタリア文化会館、
八王子市、八王子市教育委員会

協力＝NHKエデュケーショナル、アリタリア-イタリア航空、アルテリア、ヤマトロジスティクス



GALLERIE DEGLI UFFIZI



TOKYO FUJI ART MUSEUM

東京富士美術館

〒192-0016 東京都八王子市谷野町492-1 TEL 042-691-4511

HP | www.fujibi.or.jp Twitter | @tokyofujibi

Facebook | www.facebook.com/fujibi

展覧会特設サイト | www.fujibi.or.jp/harukanaru/

Sol Levante nel Rinascimento Italiano



1 ローマの画家(?)《ヨーロッパ内外にセミナリオを設立するグレゴリウス13世》
16世紀末-17世紀初頭 油彩、カンヴァス 192×280 cm グレゴリアン大学

2 ノッロ・ヴェロネーゼ《息子アンテロスとユピテルに示すヴィーナスとメルクリウス》
1561-65年頃 油彩、カンヴァス 150×243 cm ウフィツィ美術館
Gabinetto Fotografico delle Gallerie degli Uffizi

3 ドメニコ・ティントレット(ドメニコ・ロブスティ)《伊東マンショの肖像》
1585年 ミラノ、トリヴルツィオ財団

4 アレッサンドロ・アッロリの工房《ピアンカ・カペッロの肖像》
1578年以降 油彩、板 95×71 cm ウフィツィ美術館、バラティエーナ美術館および王の部屋
Gabinetto Fotografico delle Gallerie degli Uffizi

5 ティントレット(ヤコボ・ロブスティ)《レダと白鳥》
1550年頃 油彩、カンヴァス 147.5×147.5 cm ウフィツィ美術館
Gabinetto Fotografico delle Gallerie degli Uffizi

6《天正遣欧少年使節からヴェネツィア共和国政府への感謝状》
1585年7月2日 墨、インク、紙 31.8×41.7 cm ヴァチカン教皇庁図書館
© by Biblioteca Apostolica Vaticana

1582年2月20日(天正十年)、イタリア人のイエズス会巡察師ヴァリニャーノは、日本人自身の中から、ヨーロッパ文明の語り部となる人物を育成する必要があると考え、伊東マンショら4人の少年たちをヨーロッパに送り出しました。1585年3月、イタリアのリヴォルノに上陸した一行は、フィレンツェ、パニャイア、カプラローラなどを經由してローマに至り、教皇に謁見するという旅の大きな目的の一つを果たしました。帰国の旅では、ペーザロ、イモラ、フェッラーラ、ヴェネツィア、パドヴァ、ヴィチエンツァ、ヴェローナ、マントヴァ、ミラノなどの各都市を巡り、行く先々で歓待を受け、さまざまな式典や儀式に参加するなど、その見聞を広めました。

本展では、天正遣欧少年使節の足跡をたどりながら、彼らが訪れたイタリア各地の都市の美術・工芸品を紹介します。ルネサンスの中心フィレンツェからは、メディチ家の人々を描いた絵画や大公の工房で作られた工芸品、一行が狩りを楽しんだパニャイアからは、狩猟の様子を描いたタピスリー、教皇との謁見を果たしたローマからは、教皇グレゴリウス13世の肖像や使節訪問の記念メダル、ペーザロからは物語の描かれた美しい陶器、ヴェネツィアからは世界に冠たるガラス工芸や色彩豊かなヴェネツィア派の絵画など、それぞれの都市に花開いた特色ある作品が展示されます。とくにメディチ家の宮廷画家ブロンズイーノが描いた《ピア・デ・メディチの肖像》と、ヴェネツィアの画家ドメニコ・ティントレットが描き、2014年に奇跡的に再発見された《伊東マンショの肖像》は本展の見どころです。

遣欧使節が日本に帰国したのは出発から約8年半後のことでした。その間に豊臣秀吉によってキリスト教を禁ずる「バテレン追放令」が発令されるなど、彼らを取り巻く環境は大きく変わっており、その後の彼らを待ち受ける運命は過酷なものでした。しかし、「天正遣欧少年使節」として海を渡った4人の事績は、グローバル化が進む現代において、日本におけるキリスト教の歴史という枠を超えて、異文化間の相互理解という意味で、なお一層の重みをもって私たちの心に訴えかけてきます。本展を通して、4世紀以上も前に彼らが経験した国際交流の旅路を追体験していただくとともに、その当時、彼らが訪問先で目にしたであろう、ルネサンス期のイタリア美術の粋を楽しんでいただければ幸いです。

入場料

	一般	割引料金
大人	1,300円(1,000円)	
大高生	800円(700円)	
中小生	400円(300円)	

※未就学児は無料

※()内は前売券、各種割引料金[20名以上の団体・65歳以上の方・当館メルマガ登録者ほか]前売券は12月3日(日)まで販売。ローソンチケット(Lコード:34313)、チケットぴあ(Pコード:768-355)にてご購入できます

※土曜日は中小生無料

※誕生日当日にご来館された方はご本人のみ無料[証明書をご提示ください。休館日の場合は適用できません]

※障がい児者、付添人1名は半額[証明書をご提示ください]

記念講演会

◇「イエズス会の美術戦略——宗教改革と世界伝道」

講師:池上英洋(東京造形大学 教授)

日時:9月30日(土)14:00-15:00 場所:東京富士美術館 ミュージアムシアター

申込み:不要。定員200名 ※当日正午より、講演会場入口にて入場整理券を配布(お一人様一枚配布)

◇「新出《伊東マンショの肖像》を読み解く——ヤコボおよびドメニコ・ティントレットの工房との関係から——」

講師:小佐野重利(東京大学 名誉教授)

日時:10月28日(土)14:00-15:00 場所:東京富士美術館 ミュージアムシアター

申込み:不要。定員200名 ※当日正午より、講演会場入口にて入場整理券を配布(お一人様一枚配布)

アクセス

バス ●JR八王子駅北口 始発から12:29発までは、西東京バス14番のりばより
創価大正門東京富士美術館行き または創価大学循環「創価大正門東京富士美術館」下車
12:31発以降は、西東京バス11番(八日町経由)もしくは12番(ひよどり山トンネル経由)のりばより
創価大正門東京富士美術館行き 創価大学循環「創価大正門東京富士美術館」下車
●京王八王子駅 西東京バス4番のりばより
創価大正門東京富士美術館行き または創価大学循環「創価大正門東京富士美術館」下車
●JR拝島駅(1時間1本程度運行) 西東京バス3番のりばより
工学院大学(高月経由)行き「創価大正門東京富士美術館」下車 純心女子学園行き「純心女子学園」下車
●JR秋川駅(1時間1本程度運行) 西東京バス2番のりばより
京王八王子駅(サマーランド、ひよどり経由)行き「純心女子学園」下車

お車 ●中央道八王子インターチェンジ第2出口より八王子市街方面へ進み、国道16号に合流。三つ目の信号(谷野街道入口)を右折、直進し、二つ目の信号(谷野町)を右折。
●圏央道あきる野インターチェンジ秋留橋を左折し、国道411号線(滝山街道)に合流。国道16号方面(八王子市方面)へ直進(6km)。純心学園前交差点を右折し直進(700m)。



TOKYO FUJI ART MUSEUM
東京富士美術館

〒192-0016 東京都八王子市谷野町492-1 TEL.042-691-4511
HP | www.fujibi.or.jp Twitter | @tokyofujibi
Facebook | www.facebook.com/fujibi
展覧会特設サイト | www.fujibi.or.jp/harukanaru/

割引券

会期中1枚につき
10名様まで有効